

ペンギンパネルボンド1041J/1042Jの取扱い説明書

○ 使用方法

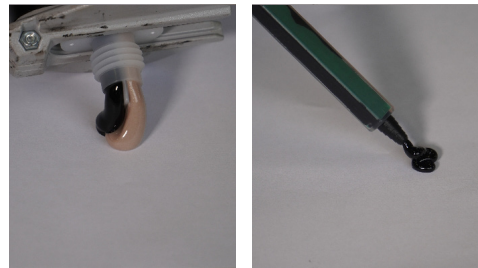
【パネル前処理】



1. 接着する鋼板、パネルの接着剤塗布部位の電着塗装や錆を除去し、鋼板の素地を出します。
2. ホワイトガソリンなど洗浄溶剤で、接着剤塗布面の余分な汚れ、鉄粉、および油分や水分などを除去します。
※ サンドペーパーは#60~120番手で実施してください。

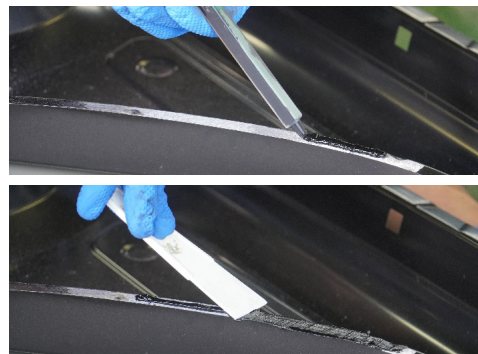
注意) 接着の障害になるような異物が接着部位付近にないようにしてください。洗浄溶剤が残らないようにきれいなウエスで拭きあげてください。

【カートリッジ準備】



3. 接着剤カートリッジを塗布ガンにセットします。
エンドシールをはずして少量吐出し主剤と硬化剤が均一に吐出されることを確認します。
ミキシングノズルを装着します。
お好みに応じてノズル先端口をカットし口径を調整してください。必ず同梱している専用ノズルをご使用ください。

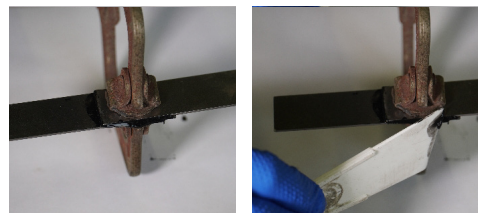
【塗布】



4. 接着する鋼板、パネルの接着剤塗布部位の電着塗装や錆を除去し、鋼板の素地を出します。(鉄板素地表面が錆びることを防ぐための下地処理)
5. 次に、一方のパネルの接着を塗り延ばした面に接着剤を塗布します。この際エッジより内側(目安5mm)に塗布すると、クランプ時の材料はみだしを低減できます。

注意) ノズル内の材料は経時により増粘します。可使用時間内であっても材料が吐出しにくくなる場合があります。

【パネル合わせ】



6. パネルを合わせてクランプ等で固定します。パネル合わせ部からはみ出した接着剤はヘラなどで取り除きます。

注意) 接着剤は、塗布後徐々に硬化を開始します。塗布・ヘラ延ばしの後は速やかにパネル合わせをしてください。(目安40分以内)

【溶接】



7. 必要に応じ、スポット溶接作業を実施します。
(溶接作業における注意事項)
スポット溶接と接着剤を併用する部位は、接着剤が硬化する前に溶接作業を行ってください。
(位置修正・スポット溶接が可能な時間)
【#1041J】塗布後240分(23°C)/100分(35°C)
【#1042J】塗布後120分(23°C)/60分(35°C)

・接着剤塗布部位ではアーク溶接はしないでください。材料が炭化し接着不良の原因となります。

【加温・次工程】

8. 接着剤の硬化を確認後、次の作業に移ってください。
注意) 接着剤はヒーターで加温することで硬化時間を早めることができます。
加温する場合は、接着剤本来の性能を発現させるために「100°C」までの加温にしてください。
(硬化時間の目安)
・強度発現時間【#1041J】24時間(23°C)/60分(60°C) ・完全硬化時間【#1041J】48時間(23°C)/120分(60°C)
【#1042J】12時間(23°C)/60分(60°C) 【#1042J】24時間(23°C)/90分(60°C)

【カートリッジの再使用】



9. 作業後接着剤が残っている場合には、ミキシングノズルを装着したまま保管してください。
10. 次に使用する際は、新しいミキシングノズルに交換の上、主剤と硬化剤が均一に吐出されていることをご確認ください。

注意) 新しいミキシングノズルを装着する前に少量の材料を吐出し、液の分離や硬化物等の異常がある場合はご使用をお控えください。

○ 貼り直し方法

- ・接着剤の可使用時間内であれば、貼り直しが可能です。貼り合わせたパネルを取り外したのち、ホワイトガソリン等をしみ込ませたウエスで接着剤を完全に除去してください。
- ・除去しきれない場合はサンドペーパーなどを用いてください。除去後、接着剤を再塗布してください。(使用方法4から再開ください)

○ 作業全般

- ・作業する際は、保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・作業する際の雰囲気温度は「15°C以上」にしてください。パネルや雰囲気温度が低いと硬化が進まず、正しい接着性が確保できませんので接着剤の温度が15°C以上確保できるように環境を整備してください。
- ・高温・多湿環境での塗布作業では接着剤の硬化が早まり、溶接までの可使用時間が短くなることがありますのでご注意ください。

○ 保管

- ・冷暗所に保管してください。
- ・低温で保管された場合、接着剤がかたくなり吐出しにくい場合があります。その場合は温めてからご使用いただくと吐出しやすくなります。(20~30°Cくらいが目安です)

○ 被着体

接着可能:鉄、アルミ、FRP

上記被着体以外の被着体へお使いの際は事前にご確認の上、ご使用ください。



- ・当社は製品性能上の不良であることが証明された製品のお取替えはいたしますが、お取扱(保管・作業等)の不慎により生じた損害については責任を負いかねます。
- ・ご使用の際は製品の目的用途以外の方法ではご使用しないでください。
- ・本製品は予告なく、仕様を変更する場合がございます。

サンスター技研株式会社

東京営業所 〒105-0014 東京都港区芝3-8-2 芝ファーストビル21階 TEL: 03-3456-0245
名古屋営業所 〒464-0086 名古屋市千種区萱場2-4-7 TEL: 052-715-3287
大阪営業所 〒569-0806 大阪府高槻市明田町7-1 TEL: 072-669-7237

